目次

ショートカットキー及びショートカットメニューの使用 1

ショートカットキー及びショートカットメニューの使用: イントロダクション 1

ショートカット キーについての参照 1

ショートカット メニューについての参照 20

Windows の標準ダイアログ ボックスでのショートカット メニュー 20

ツール バー エリアでのショートカット メニュー 21

グラフィックス表示ウィンドウでのショートカット メニュー 24

編集ウィンドウでのショートカット メニュー 43

レポート ウィンドウでのショートカット メニュー 62

ショートカットキー及びショートカットメニューの使用

ショートカットキー及びショートカットメニューの使用: イントロダクション

この付録では、PC-DMIS で使用できるメニューオプション、ダイアログボックスおよびコマンドの多くへのショートカットを記載しています。ショートカットを使用すると、プログラム作成の時間が短縮され、生産性と効率の増加につながります。

この付録で記述されている、主な項目は以下の通りです。

- ショートカット キーの一覧
- ショートカット メニューについての参照

ショートカット キーについての参照

このテーブルには、英語で利用できるショートカットキーのリファレンスを提供します。ショートカット キーについての内容説明の冒頭が *イタリック体*で始まる場合、そのショートカット キーが適切に機能するためには、イタリック体テキストの項目が、アクティブなウィンドウであるか、または、焦点の当たっている項目でなければなりません。各オプションの機能固有の情報については、当文書の該当するセクションを参照して下さい。

非英文のショートカット キー キーボードは言語によって異なるため、非英語版で構築された PC-DMIS では一部のショートカット キーの設定が異なる可能性があります。どのショートカットが PC-DMIS の非英語ビルドに関連しているかを確認するには、**カスタマイズ**ダイアログボックスの**キーボード**タブを参照してください。この**カスタマイズ**ダイアログボックスにアクセスするには、ツールバーエリアで右クリックして、**カスタマイズ**を選択します。**キーボード**タブを使用する情報については、「ユーザインターフェースのガイド」の章にある「ショートカットキーのカスタマイズ」を参照してください。

キー	内容	キー	内容	キー	内容
F1	オンラインヘルプにアクセスします。	Ctrl + A	*編集ウィンドウ:* すべてのテキストを選択します。 フォームおよびレポート エディタ: すべてのオブジェクトを選択します。	Ctrl + F1	PC-DMIS を変換モードにします。
F2	*編集ウィンドウ:*カーソルが	Ctrl + C	*編集ウィンドウ:* 選択されたテキストをコピーし	Ctrl + F2	*グラフィク表示ウィンドウ:* PC-DMIS を回転 2D モ

	式を入力できる行にある場合、**式ビルダ**ダイアログボックスを開きます。		ます。 フォームおよびレポートエディタ: 選択された オブジェクトをコピーします。		ードにします。 *編集ウィンドウ:* コマンドモードにある場合、このショートカットは現在の行でブックマークを挿入または削除します。
F3	*編集ウィンドウ:*実行用のコマンドを選択 / 選択解除します。 カーソルが外	Ctrl + D	現時点のフィーチャーを削除します。	Ctrl + F3	PC-DMIS を回転 3D モードにし、**回転** ダイアログボックスを開きます。

	部オブジェクト上に存在する場合、F3は、印刷モードと実行モード間で切り換えを行います。				
F4	*編集ウィンドウ:* 編集ウィンドウの内容を印刷します。	Ctrl + E	選別された要素かコマンド(この近道ショートカットをサポートするそれらのコマンドのための)を実行します。	Ctrl + F4	PC-DMISをプログラムモードにします。

F5	**セットアップオプション** ダイアログ ボックスにアクセスします。	Ctrl + F	**自動フィーチャー** ダイアログ ボックスが開きます。	Ctrl + F5	PC-DMIS をテキストボックスモードにします。
F6	**フォントセットアップ** ダイアログボックスにアクセスします。	Ctrl + G	編集ウィンドウ内に `READPOINT/` コマンドを挿入します。	Ctrl + Tab	編集ウィンドウを最小規模に縮小したり、普通の大きさに回復したりします。
F7	*編集ウィンドウ:* 選択	Ctrl + J	*編集ウィンドウ:* 参照されているコマンドにジャ	Ctrl + Shift	選択されたグラフィカルな分析矢印を非表示にしま

	されたトグルフィールド内で次のアルファベット順エントリーに進みます。		ンプします。		す。
F8（&E）	*編集ウィンドウ:* 選択されたトグルフィールド内で、後方に循環して最後の	Ctrl + K	編集レポート内で、選択された寸法を保存します。	Ctrl + End	*編集ウィンドウ:* 現時点での測定ルーチンの最後にカーソルを移動します。

	アルファベット順エントリを表示します。				
F9	*編集ウィンドウ:* カーソルの位置にあるコマンドに関連したダイアログボックスを開きます。	Ctrl + L	その時点で選択された、コマンドのブロックが実行されます。	Ctrl + Home	*編集ウィンドウ:* 現時点での測定ルーチンの開始点にカーソルを移動します。
F10	**パラメータ設**	Ctrl + M	編集ウィンドウに MOVEPOINT	Ctrl + Alt + A	**パーツ配置**ダイアログ ボックスが開

	定 ダイアログボックスが開きます。		コマンドを挿入します。		きます。
F12	**取付具の設定** ダイアログ ボックスが開きます。	Ctrl+N	新しい測定ルーチンを作成します。	Ctrl + Alt + L	QuickAlign 機能を使用して自動整列を作成します。
SHIFT + 右クリック	**画図サイズ調整**ダイアログボックスが開きます。	Ctrl + O	測定ルーチンを開きます。	CTRL + ALT + P	**プローブのユーティリティ**ダイアログ ボックスを開きます。
Shift + Tab	*編集*ウ	Ctrl + P	グラフィックの	Ctrl + Click	テキスト ボックス

	ィンドウ: ユーザーが編集できる以前のフィールドにカーソルを戻します。		表示ウィンドウの印刷		モードにおいて、グラフィックス表示ウィンドウ内のフィーチャー、または、ラベル ID 上でこの動作を行うと、カーソルが編集ウィンドウ内のそのフィーチャー上に移動します。 **分析** ダイアログ ボックスが開いた状態で、この動作を行うと、それは関連した寸法すべてを選択します。
SHIFT + 矢印	カーソルが移動して、すべてのテキス	Ctrl + Q	*編集ウィンドウ:* 現時点の測定ルーチンを実行します。	Ctrl + Shift + H	*編集ウィンドウ :* グラフィック表示ウィンドウで選択した要素を強調表示します。

	トがハイライト表示されます。				
Shift + F5	*編集ウインドウ:* 測定結果の取込み点の表示をデカルト座標と極座標間で変更します。'P' 文字は極座標表示モードを示しま	Ctrl + R	**回転**ダイアログボックスが開きます。	Ctrl + Shift + U	*編集ウィンドウ:*グラフィック表示ウィンドウから選択された要素の強調表示をクリアします。

	す。				
Shift + F6	*編集ウィンドウ:* コマンドモードにある場合、**色エディタ**ダイアログボックスを開きます。	Ctrl + S	現時点の測定ルーチンを保存します。	アップ矢印	*編集ウィンドウ:* 現在の位置の上にある次の使用可能な要素にカーソルを移動します。
Shift + F10	*編集ウィンドウ:***ジャンプ先**ダイアログ ボックスにアク	Ctrl + T	*編集ウィンドウ:* その時点でのコマンドを (または、選択されたコマンド)アーム 1 、アーム 2 またはその両方に割り当てます。	ダウン矢印	*編集ウィンドウ:* 現在の位置の下にある次の使用可能な要素にカーソルを移動します。

	セスします。				
終了	要素の測定を終了します。 *編集ウィンドウ:* 現在の線の終端にカーソルを移動します。	Ctrl + V	*編集ウィンドウ:* クリップボードの内容を貼り付けます。 フォームおよびレポートエディタ: コピーされたオブジェクトを貼り付けます。	右矢印	*編集ウィンドウ:*現在の位置の右側にある次の使用可能な要素にカーソルを移動します。 要約モードにおいて、このショートカットは折り畳まれた一覧を展開します。
ホーム	*編集ウィンドウ:* 現在の行の最初にカーソルを移	Ctrl + X	*編集ウィンドウ:* 選択されたテキストを切り取ります。 フォームおよびレポートエディタ: 選択したオブ	左矢印	*編集ウィンドウ:* 現在の位置の右側にある次の使用可能な要素にカーソルを移動します。 要約モードにおいて、このショート

	動します。		ジェクトを切り取ります。		カットは展開された一覧を折り畳みます。
ﾀﾌﾞ	*編集ウィンドウ:* 次のユーザーが編集できるフィールドにカーソルを移動します。	Ctrl + Y	*編集ウィンドウ:* カーソルの所在位置から、測定ルーチンを実行します。	ALT + "-" (マイナス)	ALT に続いて、マイナス キーを押すと、ヒット バッファ内の直前のヒットを削除します。
ESC	入力キーが押される前に、このキーが押されると、す	Ctrl + Z	スケール適合機能をアクティブにします。	Alt + C	**ClearanceCube** ダイアログボックスを表示します。

	べてプロセス(データエントリー以外)が中止されます。				
削除する	*編集ウィンドウ:*「バックスペース」を参照して下さい。	Ctrl + Enter または Return キー	*編集ウィンドウ:* 要約モードにおいて、このキーボードのショートカットを用いると、編集ウィンドウに追加するコマンドを選択することができます。	Alt + H	ヘルプメニューにアクセスします 。
Backspace	*編集ウィンドウ:* ハイライト表示さ	Ctrl + Click	*グラフィック表示ウィンドウ:* CAD オブジェクト (サーフェスなど) を複数選	Alt + J	*編集ウィンドウ:* 参照されているコマンドからジャンプして戻ります。

	れた文字すべてを削除します。ハイライト表示されたものがない場合には、普通のエディタ内と同じように機能します。項目を削除できない場合、エ		択します。CAD オブジェクトがすでに選択されている場合、このショートカットはそのオブジェクトを選択解除します。		

	ラーメッセージが表示されます。				
Enter または Return	*編集ウィンドウ*: カーソルが行から移動する前に、完了していない場合に自動削除される新しい空白行を作成しま	Ctrl キー+左マウスドラッグ	マウスがリリースされる時、ダイアログ ボックス、または、ツール バーを、インターフェース内にドッキングすることなく、ドラッグします。	Alt + P	*グラフィック表示ウィンドウ*: 全ての測定ルーチン用のプローブの現在のパスを描画します。

	す。 コマンドを選びます。				
Shift + F4	機械インターフェイス の設定を開始します。	Ctrl キー+左マウスドラッグ (また、中心のマウスホイールボタンをクリックしてドラッグして下さい)	*グラフィック表示ウインドウ:*3D で CAD モデルを回転します。	Alt + Shift + P	*グラフィック表示ウィンドウ:* カーソル位置の前後要素のプローブの現在のパスを描画します。
SHIFT +	*レポー*	ALT +	*グラフィック表*	Alt + F3	*編集ウィンドウ:* **検**

右クリック	*ト ウィンドウのラベル オブジェクト:* **レポートダイアログ ボックス**を表示します。	クリック	*示ウィンドウ:* **CAD アセンブリ**ダイアログボックスが開いた状態で、グラフィック表示ウィンドウで Alt キーを押しながら CAD オブジェクトを左クリックすると、このショートカットがツリービューでその対応するコンポーネントを強調表示します。		**索**ダイアログ ボックスを開きます。
SHIFT + クリック	*グラフィックの表示ウィンドウ:* ハイライト表示			Alt + Backspace	*編集ウィンドウ:* 編集ウィンドウ内で行われた、直前の操作を取り消します。

	の CAD 要素に基づいて、自動要素を作成します。				
				Shift + Backspace	*編集ウィンドウ:* 編集ウィンドウ内で取り消された、直前の操作を再実行します。
				Alt キー+ 右マウスドラッグ	*グラフィック表示ウインドウ:*マウスがドラッグされると、グラフィックス表示ウィンドウ内で 2D で CAD モデルを回転します。
				ALT + クリ	*グラフィックス表*

				ック	*示ウィンドウ:* 編集ウィンドウの基本となる要素のマックされた状態を切り替えます。

ショートカット メニューについての参照

ショートカットメニューは、ユーザーインターフェイスの特定のエリアを右クリックしたときに表示されるコンテキストメニューです。この項は、各種ショートカット メニューへのアクセス方法と、様々なメニュー オプションの機能を説明します。

Windows の標準ダイアログ ボックスでのショートカット メニュー

Windows のダイアログボックス (例えば、**オープン**、**保存**、および**印刷**ダイアログボックスなど) に存在する標準コマンド以外にも、PC-DMIS は一定の条件でショートカットメニューに機能を追加することができます。これらの多くは「高度なファイルオプションの使用」及び「基本的なファイルオプションの使用」で説明されています。

他のファイル オペレーションを開き、保存し、または、使用している時、以下のショートカット メニューのオプションを表示するには、ダイアログ ボックスに一覧表示されている、その測定ルーチンのファイル名を右クリックして下さい。

PC-DMIS インポート

選択された測定ルーチン内に、入力ファイルからのデータをインポートします。「詳細なファイルオプションの使用」章にある「CAD データ及び要素データのインポート」を参照して下さい。

PC-DMIS のエクスポート

選択された測定ルーチンから、出力ファイルへデータをエクスポートします。「詳細なファイルオプションの使用」章にある「CAD データ及び要素データのエクスポート」を参照して下さい。

開く

測定ルーチンを開きます。「基本的なファイルオプションの使用」の章にある「既存の測定ルーチンを開く」を参照して下さい。

切取り

測定ルーチンを切り取り、それをクリップボードに移動します; これは、切り取られたファイルを別のフォルダ内に配置するために Windows の**貼り付け** コマンドと共に使用されます。

コピー

測定ルーチンをコピーし、それをクリップボードに移動します; これは、コピーされたファイルを別のフォルダ内に配置するために **貼り付け** コマンドと共に使用されます。「基本的なファイルオプションの使用」の章にある「ファイル操作の実行」を参照して下さい。

改名

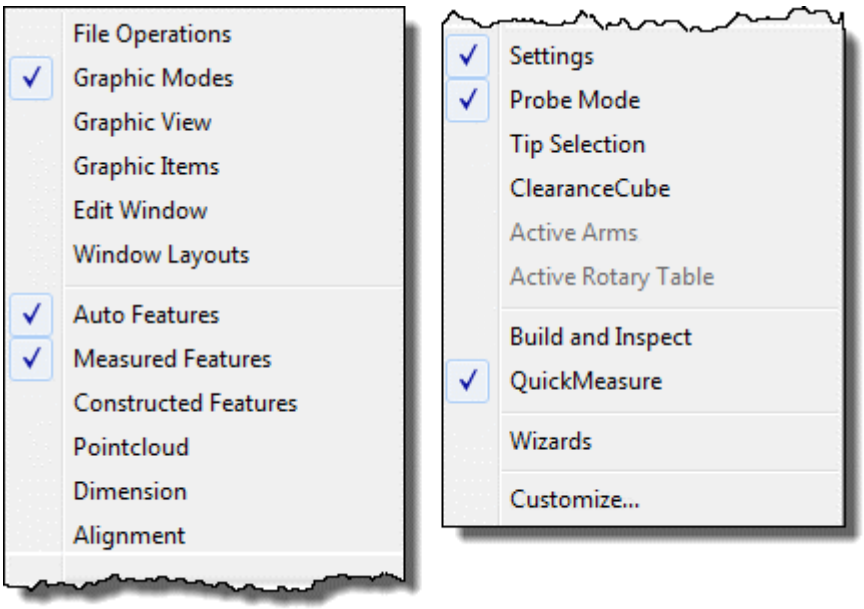
測定ルーチンの名前を変更します。

削除

測定ルーチンを削除します。「基本的なファイルオプションの使用」の章にある「ファイル操作の実行」を参照して下さい。

ツール バー エリアでのショートカット メニュー

ツールバーエリアを右クリックすると、PC-DMIS は即座にアクセスできるツールバーとその他のオプションの一覧を表示します。これらのオプションは、以下のとおり:



以下のオプションが利用できます:

ファイル操作
ツールバーエリアに対して**ファイル操作**ツールバーを追加または削除します。

グラフィックモード
グラフィックモードツールバーをツールバーエリアに対して追加および削除します。

編集ウィンドウ
編集ウィンドウツールバーをツールバーエリアに対して追加および削除します。

ウィンドウレイアウト
ウィンドウのレイアウトツールバーをツールバーエリアに対して追加または削除します。

要素の自動作成
要素の自動作成ツールバーをツールバーエリアに対して追加または削除します。

測定された要素
測定された要素ツールバーをツールバーエリアに対して追加または削除します。

構築された要素

構築された要素ツールバーをツールバーエリアに対して追加または削除します。

PointCloud

PointCloud ツールバーをツールバーのエリアに対して追加または削除します。

測定結果

測定結果ツールバーをツールバー エリアに対して追加または削除します。

アライメント

アライメントツールバーをツールバーエリアに対して追加または削除します。

設定

設定ツールバーをツールバーエリアに対して追加または削除します。

プローブモード

プローブモードツールバーをツールバーエリアに対して追加または削除します。

チップ選択

チップ選択ツールバーをツールバーエリアに対して追加または削除します。

ClearanceCube

ClearanceCube ツールバーをツールバーエリアに対して追加または削除します。

アクティブアーム

アクティブアームツールバーをツールバー エリアに対して追加または削除します。

アクティブな回転テーブル

アクティブな回転テーブルツールバーをツールバーエリアに対して追加または削除します。

作成と検査

作成と検査ツールバーをツールバーエリアにに対して追加または削除します。

QuickMeasure
特定の **QuickMeasure** ツールバー(CMM QuickMeasure ツールバー、Portable QuickMeasure ツールバー、 Vision QuickMeasure ツールバー、 QuickCloud ツールバー)をツールバーエリアにに対して追加または削除します。

ウィザード
ウィザードツールバーをツールバーエリアに対して追加または削除します。

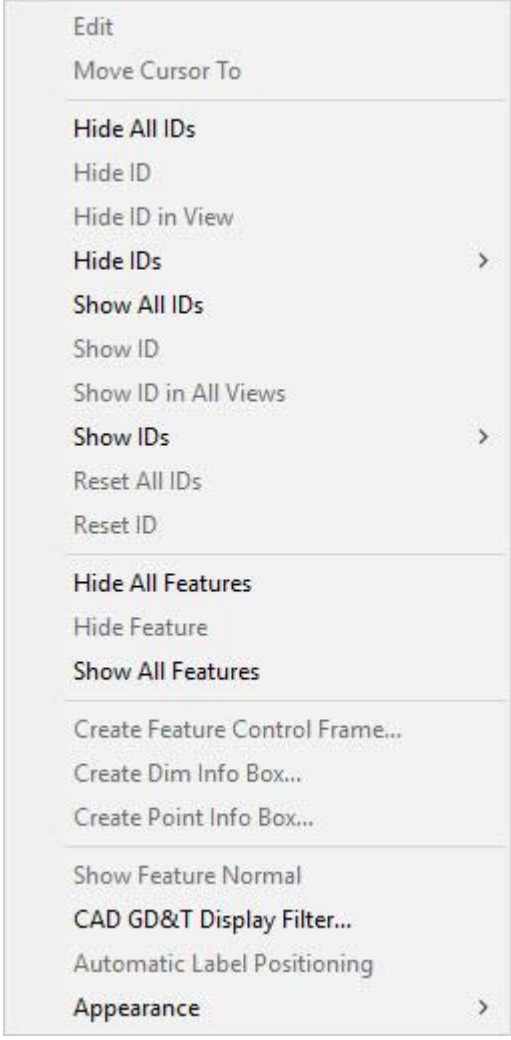
カスタマイズ
特別な用件を満たすために、ツール バー、及び、メニューをカスタマイズします。「ユーザーインターフェースの利用」の章にある「ユーザー インターフェースのカスタマイズ」を参照して下さい。

ツールバーに関する情報については、「ツールバーの使用」の章を参照してください。

グラフィックス表示ウィンドウでのショートカット メニュー

以下のショートカットメニューは、空きスペースを右クリックして、グラフィック表示ウィンドウ (**表示 | グラフィック表示ウインドウ**) 内部で使用できます。

ショートカット メニューについての参照



オプション	トピックで説明しています
編集	フィーチャー ショートカット メニュー
カーソルの移動先	フィーチャー ショートカット メニュー
すべての ID を非表示にする	フィーチャー ショートカット メニュー
ID を隠す	フィーチャー ショートカット メニュー
ビュー内の ID を隠す	フィーチャー ショートカット メニュー

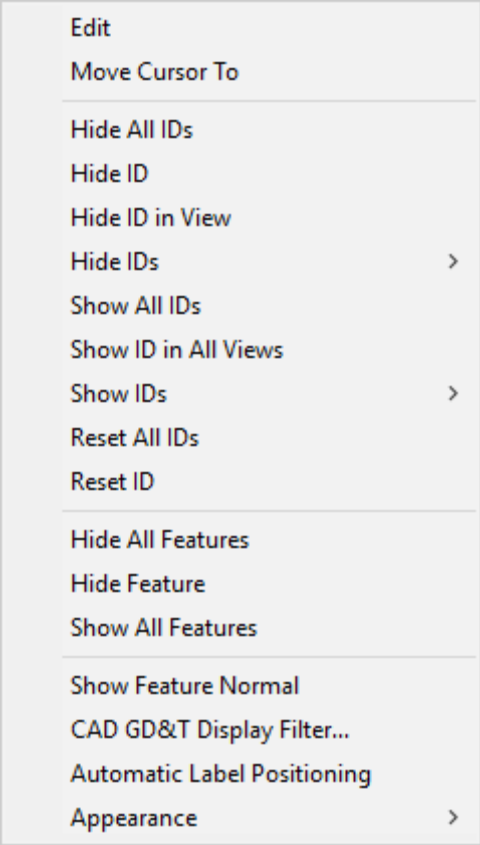
表示しない ID	フィーチャー ショートカット メニュー
すべての ID を表示	フィーチャー ショートカット メニュー
ID を表示	フィーチャー ショートカット メニュー
すべてのビューで ID を表示	フィーチャー ショートカット メニュー
表示する ID	フィーチャー ショートカット メニュー
すべての ID をリセット	フィーチャー ショートカット メニュー
ID の再設定	フィーチャー ショートカット メニュー
すべての幾何学要素を表示しない	フィーチャー ショートカット メニュー
要素を隠す	フィーチャー ショートカット メニュー
すべての要素を表示	フィーチャー ショートカット メニュー
要素コントロールフレームの作成	フィーチャー ショートカット メニュー
測定結果情報ボックスの作成	フィーチャー ショートカット メニュー
点情報ボックスの作成	フィーチャー ショートカット メニュー
要素公称値の表示	要素の標準オプションの表示 このトピックは「CAD 表示の編集」章にあります。
CAD GD&&T 表示ﾌｨﾙﾀ	フィーチャー ショートカット メニュー
ﾗﾍﾞﾙの自動配置	フィーチャー ショートカット メニュー

外観	フィーチャー ショートカット メニュー

追加メニューオプションは特定エリアを右クリックする場合にのみ使用可能になります。詳しくは、以下のトピックを参照してください。

要素ショートカット メニュー

このショートカットメニューにアクセスするには、グラフィック表示ウィンドウから、要素の ID ラベル、測定結果情報ボックス、点情報ボックス、要素制御フレームまたは CAD GD&T コールアウトを右クリックします。また、グラフィック表示ウィンドウで任意の場所を右クリックすると、これらのオプションの多くを表示することができます。



GD&T コールアウトを右クリックすると、これらの同じメニュー項目の多くが表示されますが、この場合メニュー項目の表示または非表示しか機能しません。

以下のオプションが利用できます:

編集

このメニューオプションを選択すると、編集ウィンドウで基になるコマンドに対する適切なダイアログボックスが開き、ダイアログボックスを使用してそのコマンドを編集することができます。

従来のグラフィックラベルでの測定結果情報ボックスの場合、これは通常どおり**測定結果情報の編集**ダイアログボックスを開きます。より詳しい情報に

ついては、「レポートコマンドの挿入」章の「測定結果情報ボックスの挿入」を参照して下さい。

新しいグラフィックラベルでの測定結果情報ボックスの場合、これはそのラベルに対する**プロパティ**ダイアログボックスを開いて、**テンプレートパス**フィールドにある基本テンプレートへのパスを表示します。

要素の外観ダイアログボックスにおける**従来のグラフィックラベルを使用**チェックボックスで、ソフトウェアが使用するグラフィックラベルを変更することができます。　このダイアログボックスについて詳しくは、「CAD 表示の編集」章にある「要素の外観の編集」トピックを参照して下さい。

カーソルの移動先

編集ウィンドウ内で編集ウィンドウのカーソルをこの要素のコマンドラインに移動するには、このメニューオプションを選択します。これは、編集ウィンドウのカーソルの位置*のみに*作用し、グラフィックの表示ウィンドウのプローブの位置は変わりません。

すべての ID を非表示にする

- すべての要素に対するすべての要素ラベル、測定結果情報、点情報および要素コントロールフレームを非表示にします。

ID を非表示にする

このメニューオプションを選択すると、グラフィック表示ウィンドウにある 1 つの *ID ラベル*が非表示になります。隠されたラベルはまだ存在しており、単にビューから隠れているだけです。

ビューで ID を非表示にする

これは現在のビューのみで選択した要素の *ID ラベル*を非表示にします。他のビューでは表示されたままになります。

ID を非表示にする

このサブメニューでは異なる要素の ID ラベルを非表示にすることができます。非表示にする ID ラベルは依然として存在し、ビューから非表示になっているだけです。

以下の ID ラベルの種類から表示、非表示にするものを選択できます。

- **要素ラベル** - すべての要素のすべての要素ラベルを非表示にします。
- **ビューで表示されている要素ラベル** - 現在のビューで表示されるすべての要素のすべて要素ラベルを非表示にします。
- **測定結果情報** - すべての要素のすべての測定結果情報を非表示にします。
- **点情報** - すべての要素のすべての点情報を非表示にします。
- **要素コントロールフレーム** - すべての要素および CAD GD&T コールアウトに対するすべての要素コントロールフレームを非表示にします。

すべての ID を表示する

すべての要素に対するすべての要素ラベル、測定結果情報、点情報および要素コントロールフレームを表示します。

すべてのビューで ID を表示

すべてのビューで、選択した要素の *ID ラベル*を表示します。

ID を表示する

このサブメニューでは異なる要素 ID ラベルを表示することができます。詳細については、上記の ID を非表示にするドキュメントを参照してください。表示メニュー項目はそれらの「非表示」メニュー項目の逆のことを行います。

ID をすべてリセット

このオプションを選択すると、すべての ID ラベルが各要素の隣にある元の位置に戻ります。

ID のリセット

このオプションは、1 つの要素ラベルを要素の隣の元の位置に戻します。

要素をすべて非表示にする

このオプションを選択すると、パート上の要素をすべて非表示にしてグラフィック表示ウィンドウから削除します。要素はまだ存在しビューから隠れるだけです。

要素を非表示

このオプションを選択すると、1 つの要素を非表示にしてグラフィック表示ウィンドウから削除します。要素はまだ存在しビューから隠れるだけです。

要素をすべて表示

このオプションを選択すると、以前に隠されていた要素すべてをグラフィックの表示ウィンドウに表示します。

要素垂線を表示

詳しくは、「CAD 表示の編集」章の「要素垂線オプションの表示を参照してください。

CAD GD&T 表示フィルタ

このメニューオプションでは、どの CAD GD&T キャプションを表示するかフィルタリングすることができます。「CAD 表示の編集」章の「CAD GD&T コールアウトを使用した操作」を参照して下さい。

自動ラベル配置

このメニューオプションを使用すると、現在のビューのエッジ周辺で要素の ID ラベルの自動配置を一括で実行できます。

外観

このサブメニューは以下の項目から成ります。

背景色を変更

このオプションを選ぶと、[**ラベルオプションの変更**]ダイアログ ボックスが表示されます。このダイアログ ボックスを用いて、要素の ID ラベル向けの背景色を変更することができます。全フィーチャー ラベルをこの新しい色に変えるか、または、その時点でのタイプのラベルのみをこの新しい色に変えるか、選択することが可能です。次の 3 種類の異なるタイプのラベルが用意されています:要素 ID ラベル、測定結果情報ボックス、および点情報ボックス。

[**デフォルト**]ボタンをクリックするとデフォルト設定を変更できます。

このオプションは要素コントロールフレームでは機能しません。

線色を変更

このオプションを選ぶと、[**ラベルオプションの変更**]ダイアログ ボックスが表示されます。このダイアログ ボックスを用いて、要素の ID ラベル向けの境界線の色を変更することができます。すべての要素ラベルの境界で新しい色に変更するか現在のラベルの種類のみ変更するか選択できます。次の 3 種類の異なるタイプのラベルが用意されています:要素 ID ラベル、測定結果情報ボックス、および点情報ボックス。

[**デフォルト**]ボタンをクリックするとデフォルト設定を変更できます。

このオプションは要素コントロールフレームでは機能しません。

影を表示

このオプションを選ぶと、[**ラベルオプションの変更**]ダイアログ ボックスが表示されます。このダイアログ ボックスを用いて、要素の ID ラベルの下に、小さい影を表示したり、隠したりすることができます。全タイプのラベルに影を付け加えるか、または、その時点でのタイプのラベルにのみ影を付け加えるか、選択することが可能です。次の 3 種類の異なるタイプのラベルが用意されています:要素 ID ラベル、測定結果情報ボックス、および点情報ボックス。

[**デフォルト**]ボタンをクリックするとデフォルト設定を変更できます。

このオプションは要素コントロールフレームでは機能しません。

テキストボックスモードでの要素のショートカットメニューの追加

テキストボックスモード ( ) では、PC-DMIS はこれらの追加オプションを標準の要素ショートカットメニューに追加します。

ID を表示

選択した要素のラベルに非表示を解除します。(これはラベルが非表示である要素の近くで右クリックする場合にのみ使用することができます。)

要素の制御フレームの作成

このオプションでは、選択された要素から位置要素の制御フレーム (FCF) の寸法

を作成できます。**XactMeasure GD&T** ダイアログボックスが表示されます。FCF 寸法の作成方法については、「要素制御フレームの使用」を参照してください。

寸法作成情報のボックス

このオプションを選ぶと、ハイライトされた要素から[寸法情報]テキストボックスが作成されます。[**測定結果情報の編集**]ダイアログボックスが表示され、測定結果情報テキストボックスを作成できる使用可能な測定結果を表示します。

要素に寸法が 1 つも関連付けられていない場合、PC-DMIS はその要素に対してデフォルトの位置の寸法を自動的に作成します(「旧式寸法の使用」章の「位置の測定」を参照してください)。この[**寸法情報の編集**]ダイアログボックスの使用に関する、より詳しい情報については、「レポートコマンドの挿入」章の「寸法情報ボックスの挿入」を参照して下さい。

点作成情報ボックス

のこのメニューオプションを選ぶと、ハイライトされた要素から[点情報]テキストボックスが作成されます。[**点情報の編集**]ダイアログ ボックスが表示され、[点情報]テキストボックスを作成できる要素 (および使用可能な測定結果)を表示します。この[**点情報の編集**]ダイアログ ボックスを使用して[点情報]テキストボックスを作成することに関する、より詳しい情報については、「レポートコマンドの挿入」の章にある「点情報ボックスの挿入」を参照して下さい。

これらの追加されたオプションにアクセスするには

1. **テキストボックスモード**アイコンを選択します。詳細情報については、「CAD 表示の編集」章の「テキスト ボックス モード」トピックを参照して下さい。
2. グラフィックの表示ウィンドウ内で、要素または要素の ID ラベルを右クリックし、ショートカットメニューを表示します。

テキストボックスモードでの測定結果/点情報メニュー

テキストボックスモード ( ) にあるとき、測定結果情報ボックスまたは点情報ボックスを右クリックすると、PC-DMIS は標準の要素ショートカットメニューに次の 2 つのオプションを追加します。

編集

このオプションでは、選択した [寸法情報] または [点情報] テキストボックスを編集できます。若干変更された [**寸法情報の編集**] または [**点情報の編集**] ダイアログボックスが開きます。ダイアログボックスの下部に並んだ標準ボタンに加え、追加の[**すべてに適用**]ボタンを使用できます。

すべてに適用をクリックすると、ダイアログボックスで行われた変更を *すべての* 測定結果情報またはポイント情報ボックスに適用されるようにします。

> 変更情報ボックスに対して元から作られた変更のみがすべての測定結果情報または点情報ボックスに適用されます。既に別の情報ボックスと異なっているオリジナルの情報ボックスの設定は他の情報ボックスには適用されません。

より詳しい情報については、「レポート コマンドの挿入」の章の「測定結果情報ボックスの挿入」を参照して下さい。

削除

このメニューオプションを選ぶと、選択された寸法または点情報テキストボックスを削除することができます。編集ウィンドウに対応の POINTINFO または DIMINFO コマンドも削除されます。

これらの追加されたオプションにアクセスするには

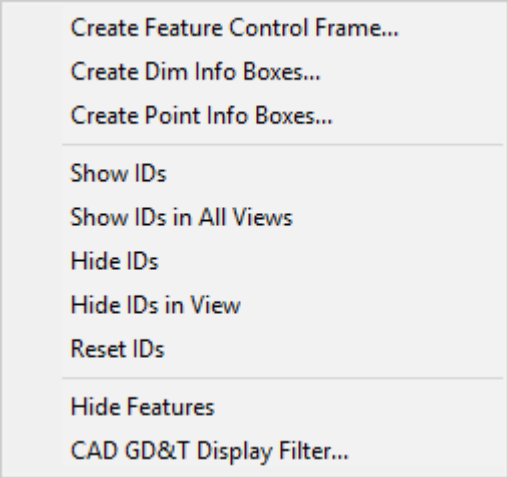
1. [**テキストボックスモード**]アイコンを選択します(「CAD 表示の編集」の章にある「テキストボックスモード」を参照して下さい)。
2. グラフィックの表示ウインドウの**寸法情報**または**点情報**ボックスを右クリックします。

ボックス選択ショートカット メニュー

このショートカットメニューは**テキストボックスモード**でのみ使用できます。このメニューにアクセスするには:

1. **グラフィックモード**ツールバーから**テキストボックスモード**アイコン ( ) を選択します。このモードについて詳しくは、「CAD 表示の編集」章の「テキストボックスモード」を参照して下さい。
2. 1 つまたは複数の要素をボックス選択して、ボックス内部のすべてのグラフィク要素または要素 ID ラベルを選択します。

次のオプションを持つショートカットメニューが現れます:



以下のオプションが利用可能です。

要素の制御フレームの作成

このオプションでは、選択された要素から位置要素の制御フレーム (FCF) の寸法を作成できます。**XactMeasure GD&T** ダイアログボックスが表示されます。FCF 寸法の作成方法については、「要素制御フレームの使用」を参照してください。

寸法情報ボックスを作成

このメニュー オプションを選ぶと、選択した要素から[測定結果情報]テキスト ボックスが作成されます。

PC-DMIS は強調表示された要素の 1 つに対する**測定結果情報の編集**ダイアログボックスを表示します。最初の測定結果情報ボックスを作成できる使用可能な測定結果を表示します。

[**測定結果情報の編集**]ダイアログで希望のオプションを選択すると、[**OK**]または[**作成**]ボタンをクリックして、測定結果情報ボックスが作成します(編集する場合は[**適用**] ボタンを押します)。

PC-DMIS は**測定結果情報の編集**ダイアログボックスで選択された任意の測定結果から最初の測定結果情報ボックスを作成します。

PC-DMIS は各要素に関連したすべての測定結果から後続の情報ボックスを作成します。

測定結果がどの要素にも関連していない場合、PC-DMIS はその要素に対してデフォルト位置の測定結果を作成します(「従来の測定結果の使用」章の「位置の測定」を参照してください)。この[**寸法情報の編集**]ダイアログ ボックスの使用に関する、より詳しい情報については、「レポートコマンドの挿入」章の「寸法情報ボックスの挿入」を参照して下さい。

ポイント情報ボックスを作成

このメニュー オプションを選ぶと、ハイライト表示さた要素から[点情報]のテキスト ボックスが作成されます。PC-DMIS は強調表示された要素の 1 つに対する**点情報の編集**ダイアログボックスを表示します。このダイアログボックスは [点情報] テキストボックスを作成できる要素 (および使用可能な測定結果) を表示します。

[**点情報の編集**] ダイアログボックス内の希望のオプションを選択したら、情報ボックスの作成のために **OK** または**作成**ボタンのいずれかを選択して下さい (編集する場合は**適用**ボタンを押してください)。

PC-DMIS は**点情報の編集**ダイアログボックスで選択された要素または測定結果 (複数可) から最初の情報ボックスを作成します。PC-DMIS は各要素に関連したすべての測定結果と要素自体から、後続の点情報ボックスを作成します。点情報ボックスがすべての測定結果と要素の取込み点に対して作成されます。この[**点情報の編集**]ダイアログ ボックスを使用して[点情報]テキストボックスを作成することに関する、より詳しい情報については、「レポートコマンドの挿入」の章にある「点情報ボックスの挿入」を参照して下さい。

ID ラベルの表示、非表示

これらのメニューオプションの 1 つを選択すると、選択されたすべての要素を表示、または非表示します。ID ラベルを隠すよう選択しても、ID ラベルはまだ存在しビューから隠れるだけです。

ID ラベルをすべてのビューに表示

このオプションを選ぶと、利用可能なグラフィックス表示ウィンドウの画像区画のすべてで、選択された全 ID ラベルが表示されます。

ID ラベルをビューから隠す

このオプションを選ぶと、その時点でのグラフィックス表示ウィンドウの画像区画において、選択された全 ID ラベルを隠します。

ID ラベルのリセット

このオプションを選択すると、選択した ID ラベルがすべて各要素の隣にある元の位置に戻ります。

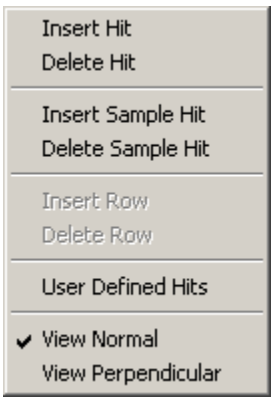
要素の隠し

このオプションを選択すると、パート上で選択した要素すべてを隠し、それらをグラフィックの表示ウィンドウから削除します。要素はまだ存在しビューから隠れるだけです。

CAD GD&T 表示フィルタ

このメニューオプションでは、どの CAD GD&T キャプションを表示するかフィルタリングすることができます。「CAD 表示の編集」章の「CAD GD&T コールアウトを使用した操作」を参照して下さい。

自動フィーチャー パス ライン ショートカット メニュー



このショートカットメニューにアクセスするには、**要素の自動作成**ダイアログ ボックス (**挿入 | 要素 | 自動 | <要素タイプ>**)内の**ヒットターゲットの表示を切り替え**ボタンを選択します。

以下のオプションが利用できます:

ヒットを挿入
自動要素に追加のヒットを挿入します。

ヒットを削除
自動要素から選択したヒットを削除します。

サンプル ヒットを挿入
自動要素にサンプルヒットを挿入します。

サンプル ヒットを削除
自動要素から選択したヒットを削除します。

行を挿入
円筒や円錐など、複数行のヒットを使用する要素を使って作業している場合、別のヒットの行を挿入します。

行の挿入

円筒や円錐など、複数行のヒットを使用する要素を使って作業している場合、選択したヒットの行を挿入します。

ユーザ定義のヒット

マウスを用いて、ヒットや経路に手動で変更する時には、常に、このメニュー オプションが自動的に選択されます。

その後、このメニューを選択解除すると、PC-DMIS は、これまでの変更内容を廃棄し、それ以前の状態に戻します。

それに加え、このオプションをヒット用に選択し、それから、[**横から垂直に表示**]を用いて、 そのフィーチャーを横から垂直に表示する場合、その特定のヒットの深さや高さを調整することが可能です。それに加え、このオプションをヒット用に選択し、それから、[横から垂直に表示]を用いて、 そのフィーチャーを横から垂直に表示する場合、その特定のヒットの深さや高さを調整することが可能です。

ビューノーマル

これは要素の CAD ビューを真上からのビューに変更します。

垂直ビュー

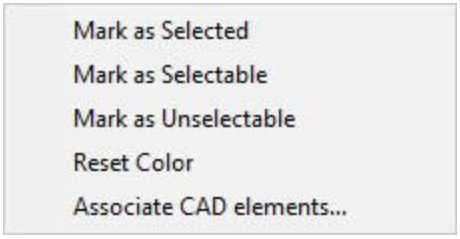
これは、要素の CAD ビューを横方向からのビューに変更し、要素の深さを定義したり追加レベルのヒットを追加する場合に理想的です。

CAD GD&T 吹き出しショートカットメニュー

このショートカットメニューを使用して、CAD GD&T 吹き出しを異なる色に設定して、現在の吹き出し (選択済、選択可能、または選択解除) の状態をよりよく伝えることができます。

このメニューにアクセスするには、ソフトウェアが GD&T 選択モードになっている必要があります。このモードを有効にするには、**グラフィックモード**ツールバーから **GD&T 選択モード** ( ) を有効にします。

CAD GD&T コールアウトを右クリックすると、メニューオプションが表示されます：



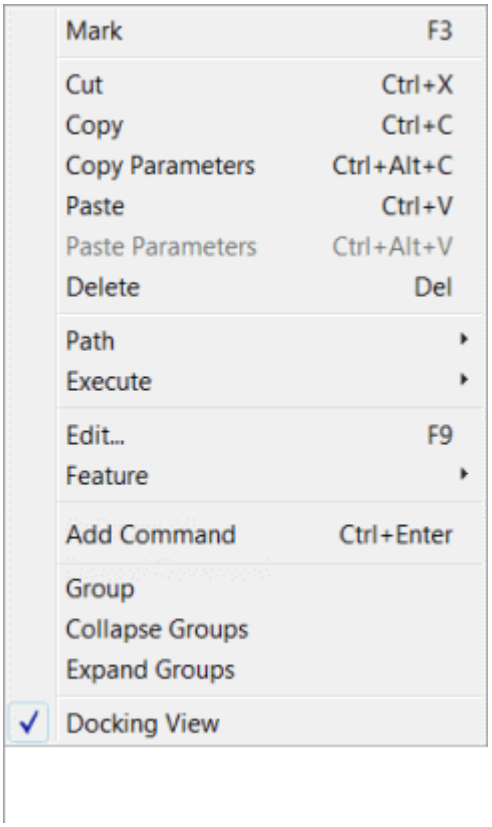
- **選択したことにマークする** - このコールアウトを選択したことを示すようにコールアウトの色を灰色に変更します。
- **選択可能にマークする** - これにより、コールアウトの色が選択可能な色に変更され、このコールアウトが選択可能であることを示します。
- **選択不能にマークする** - これは、コールアウトの色を無効な (選択不能な) 色に変更し、このコールアウトが無効で選択できないことを示します。
- **色をリセット** - これはモデルをインポートしたときに、コールアウトの色を元の色に戻します。
- **CAD 要素の関連付け** - これはダイアログボックスを開き、GD&T CAD コールアウトをモデル上の CAD 要素に手動でリンクすることができます。詳細については、「CAD 表示の編集」章の「CAD GD&T CAD コールアウトの使用」の「CAD GD&T CAD コールアウトを CAD 要素に関連付ける」を参照してください。

編集ウィンドウでのショートカット メニュー

PC-DMIS の編集ウィンドウは、ユーザーが選択する編集ウィンドウモードによって変わりますが、以下のショートカットメニューから成ります。

要約モード コマンド ショートカット メニュー

編集ウインドウの要約モード (「編集ウインドウの使用」章の「要約モードを使用した操作」を参照) でコマンド項目を選択して、コマンド項目を右クリックすると、コマンドショートカットメニューが表示されます。このメニューには、以下のオプションがあります:



要約モードコマンドショートカットメニュー

以下のオプションが利用できます:

マーク (F3)

このオプションを選ぶと、そのオブジェクトを実行用にマークするか否か、マークの有無をトグル操作できます。

切り取り (ショートカット キーのストローク: Ctrl-X)

このオプションを選ぶと、選択されたコマンドがクリップボードから切り取られ、測定ルーチンから除去されます。

コピー (ショートカット キーのストローク: Ctrl-C)

このオプションを選ぶと、選択されたコマンドがクリップボードにコピーされます。

貼り付け (ショートカット キーのストローク: Ctrl+V)

このオプションを選ぶと、以前にクリップボードから切り取られた、または、コピーされたコマンドが、選択されたコマンドの下に貼り付けられます。

削除 (ショートカット キーのストローク: Del)

このオプションを選ぶと、選択されたコマンド、及びすべてのサブ コマンドが、測定ルーチンから削除されます。

パス | パスライン

このオプションは、選択した要素の範囲のみにパスラインを表示します。「CAD 表示の編集」の章の「パスラインの表示、アニメーション、および移動」を参照してください。

パス | 衝突の検出...

このオプションはパスラインを表示し、選択された様々な要素のために衝突検出を実行します。「CAD 表示の編集」の章の「衝突の検出」を参照して下さい。

パス | ClearanceCube | オフ

ClearanceCube 要素をオフにします。

パス | ClearanceCube | オン

ClearanceCube 要素をオンにします。

パス | ClearanceCube | 開始面

このオプションでは、ユーザーは開始面を選択して ClearanceCube を整列することできます。オプションは-X, +X, -Y, +Y, -Z, +Z およびオフです。

パス | ClearanceCube | 終了面

このオプションでは、ユーザーは終了面を選択して ClearanceCube を整列することできます。オプションは-X, +X, -Y, +Y, -Z, +Z およびオフです。

パス | パスの最適化

このオプションは GROUP コマンドを右クリックした場合にのみ表示されます。これはグループの内部機能のパス最適化を実行します。詳しくは、付録「PC-DMIS での検査プランの使用」の「接触プローブでの単一アームのパス最適化」を参照してください。

実行 | マーク (ショートカット キーのストローク: F3)

このオプションを選ぶと、そのオブジェクトを実行用にマークするか否か、マークの有無をトグル操作できます。

実行 | 開始点として設定

このオプションは、可能な場合にカーソルの位置にルーチンの開始点を設定します。

実行 | カーソルからの実行

このオプションは、カーソルの現在位置の点からルーチンを開始します。

実行 | ブロック実行

このオプションは、指定されたコードブロックを実行します。

実行 | BreakPoint (ショートカット キーのストローク: Ctrl-B)

このオプションを選択すると、カーソルの現在位置にブレークポイントが挿入されます。

編集 (ショートカット キーのストローク: F9)

このオプションは、現在のコマンド·オブジェクトのダイアログボックスが表示されます。

要素 | CAD からの理論値をアップデート

このオプションは、測定ルーチンの理論値をインポートされた CAD 理論値でアップデートします。

要素 | 公称値探索の上書き

このオプションを選択すると、学習モードと実行モード中の PC-DMIS のデフォルトの公称値検索機能を上書きします。詳しい情報については、「測定ルーチンの編集」の章にある、「検索された公称値を上書き」を参照して下さい。

要素 | 測定値を理論値にリセット

このオプションはすべての測定値を測定ルーチンの理論値に設定します。

要素 | CAD で中心設定

このオプションはグラフィックの表示ウィンドウで、パートの CAD モデルを必要に応じて現在の要素の中心に移動、回転します。いったん中心に置かれると、要素は 2 、 3 回点滅します。この移動および回転操作は元に戻すことはできません。

要素 | CAD でハイライト

このオプションはグラフィックス表示のウインドウで選んだ要素を強調します。もしそれが隠されるなら、それは同じく要素ラベルを表示して強調します。第一の要素のハイライトをクリアするには、第二の要素を強調表示します。

要素 | CAD でハイライト解除

このオプションは **CAD でハイライト** メニュー項目を介してハイライトされた CAD 要素をクリアします。

要素 | 要素へプローブを移動

このオプションは選別された要素のためにグラフィックス表示ウインドウでアニメのプローブを CAD 要素に移動します。ユーザが最初要素コマンドを選択するなら、それは選択だけに利用可能になります。他のコマンドは支援されません。

要素 | SPH_Tip1 へ移動

*このオプションは自動要素を右クリックしたときにのみ表示されます。*選択した自動要素の中心へプローブを移動します。この操作は**自要素の自動作成**

ダイアログボックスの**移動先**ボタンと同じように機能します (**挿入 | 要素 | 自動 | <要素タイプ>**)。

警告: これを行うと機械が動きます。怪我を防止するために機械に近づかないでください。ハードウェアの損傷を防止するために機械を低速で動かしてください。

要素 | SPH_TIP1 をテスト

*このオプションは自動要素を右クリックしたときにのみ表示されます。*これは、選択された自動要素のテスト実行を行います。この操作は**自動要素**ダイアログボックスにある**テスト**ボタンと同じように機能します。

警告: これを行うと機械が動きます。怪我を防止するために機械に近づかないでください。ハードウェアの損傷を防止するために機械を低速で動かしてください。

追加コマンド (ショートカットキーのストローク: Ctrl-Enter)

このオプションを選ぶと、アルファベット順のスクロール可能な一覧から、編集ウィンドウにコマンドを追加することができます。

ステップ 1 : コマンドの最初の数文字を入力することによって、リストをナビゲートします。PC-DMIS は自動的にそのコマンドに切り替えします。

ステップ 2: 一覧から、そのコマンドを選んで下さい。

ステップ 3: 「CTRL + ENTER」か、または、「ENTER」のいずれかのキーを押し、編集ウィンドウ内にその新コマンドを配置して下さい。

- 「CTRL + ENTER」を押して、ショートカットメニューを開くのに使用されるコマンド ブロック の後にコマンドを配置します。
- 「ENTER」を押して、ショートカットメニューを開くのに使用されるコマンド ブロック の内部にコマンドを配置します。Enter キーがこのように機能するのは、ユーザーが追加するコマンドが PC-DMIS が別のコマンドブロックに挿入できるコマンドタイプである場合のみです。それ以外の場合には、PC-DMIS が、それをその時点のコマンドの後に挿入します。

グループ化

このオプションを選ぶと、ユーザー定義のグループに、一連のコマンドの一覧を挿入します。

グループを縮約

このオプションを選ぶと、拡大されたユーザー定義のグループすべてを縮約します。その他の拡大されたグループは、拡大されたまま留まります。

グループを展開

このオプションは、すべての折りたたまれたユーザ定義のグループを展開します。他の折りたたまれたアイテムが折りたたまれたままにしていください。

画像をドッキング

このオプションを選ぶと、編集ウィンドウがドッキングするか、ドッキング解除をするかを決めます。

- このオプションを選択解除すると、編集ウィンドウは、PC-DMIS の旧バージョンの場合と同じように作動し、グラフィックス表示ウィンドウ上で浮動表示されます。
- このオプションを選ぶと、編集ウィンドウをグラフィックス表示ウィンドウの側面か最上部か、または、底部にドッキングすることができます。

  ユーザーインターフェース要素のドッキングとアンドッキングの詳細については、「ユーザー インターフェース要素のドッキングとアンドッキング」を参照してください。

要約モード (プレビュー) コマンドのショートカットメニュー

要約モード (プレビュー) において編集ウィンドウでコマンド項目を選択し (「編集ウィンドウの使用」章の「要約モードでの操作」を参照) 、コマンド項目を右クリックすると、コマンドショートカットメニューのオプションが、選択したコマンドの種類 (一般、ポイントクラウド、ポイントクラウド断面演算子またはメッシュ) に応じて変化します。

一般コマンド

大部分のコマンドで以下のショートカットメニューが表示されます。

一般コマンドでのショートカットメニュー

以下のオプションが利用できます:

パラメ - タのコピー (ショートカットキー: Ctrl+Alt+C)

このオプションを選ぶと、選択されたパラメータがクリップボードにコピーされます。

パラメ - タの貼り付け (ショートカットキー: Ctrl+Alt+V)

このオプションは編集ウィンドウのカーソル位置にクリップボードからコピーされたパラメータを貼り付けます。

グループ化

このオプションを選ぶと、ユーザー定義のグループに、一連のコマンドの一覧を挿入します。

ポイントクラウドコマンド

ポイントクラウドコマンドで以下のショートカットメニューが表示されます。

ポイントクラウドでのショートカットメニュー

以下のオプションが利用できます:

表示または**非表示**

このオプションは表示と非表示間のラベルを切り換えます。

ポイントクラウドの表示

- **スムーズ**：このオプションは定義された COP カラーを使用して影付きの外観を提供します。
- **フラット** - このオプションは影無しのグラフィカル表示で点群を表示します。この選択には、最小量のグラフィクメモリが必要です。
- **両面**：このオプションはスキャンされたパートの側面が定義済み COP カラーであり、非スキャン側がコントラストのある色である影付きの外観を表示します。
- **メッシュ表示**：このオプションはメッシュ表示としてポイントクラウドを表示します。

メッシュ表示オプションは、メッシュライセンスを所持しており、**メッシュ表示**オプション (ポータブルのみ) を使用して点群をスキャンした場合にのみ使用できます。詳細は、PC-DMIS Laser ドキュメントの「ポイントクラウド表示の項」を参照してください。

メッシュ表示は表示設定のみです。基になるデータは点群です。

但し、COP を編集する場合 (例えば、点群で COP 操作を実行する場合) 、メッシュ表示がなくなり、表示は点に戻ります。

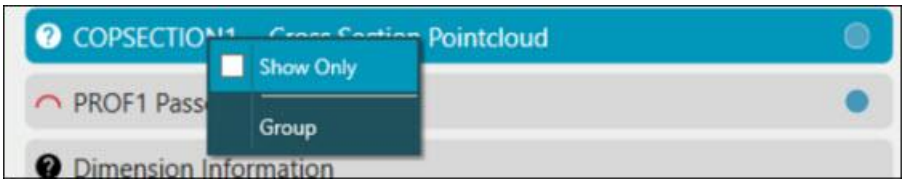
ポイントクラウド表示オプションについて詳しくは、PC-DMIS Laser ドキュメントの「ポイントクラウドのグラフィック表現」を参照してください。

グループ化

このオプションを選ぶと、ユーザー定義のグループに、一連のコマンドの一覧を挿入します。

ポイントクラウド断面演算子コマンド

ポイントクラウド断面演算子コマンドでは以下のショートカットメニューが表示されます。



ポイントクラウド断面演算子コマンドでのショートカットメニュー

以下のオプションが利用できます:

選択のみ表示

このオプションは、選択した断面の 2D ビューを表示します。このオプションを有効にすると、PC-DMIS の左側にチェックマークが表示されます。詳細については、PC-DMIS Laser ドキュメントの「断面の 2D ビュー (2 次元ビュー)」を参照してください。

グループ化

このオプションを選ぶと、ユーザー定義のグループに、一連のコマンドの一覧を挿入します。

メッシュコマンド

メッシュコマンドでは以下のショートカットメニューが表示されます。

メッシュコマンドでのショートカットメニュー

以下のオプションが利用できます:

表示または**非表示**

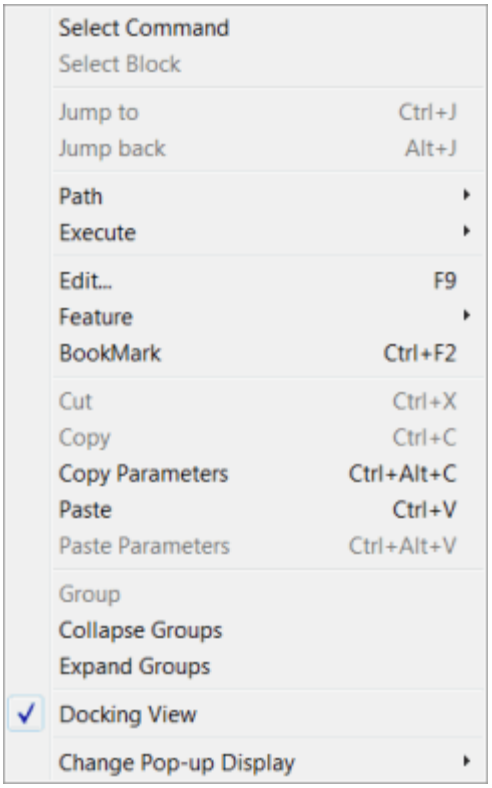
このオプションはグラフィック表示ウィンドウでのメッシュデータの表示/非表示を切り換えます。

グループ化

このオプションを選ぶと、ユーザー定義のグループに、一連のコマンドの一覧を挿入します。

コマンドモードでのショートカットメニュー

次のショートカットメニューオプションは PC-DMIS がコマンドモードの時に利用可能です。これらのモードに関する、より詳しい情報については、「編集ウィンドウの使用」の章にある「コマンド モードでの作業」を参照して下さい。



以下のオプションが利用できます:

コマンドの選択

このオプションはマウスを上に置いたコマンドを強調表示します。

ブロックを選択

マウスが開始または終了オブジェクトの上にある場合、ブロック全体を選択します。

<要素>にジャンプ (ショートカットキーのストローク: Ctrl-J)

このオプションを選ぶと、その時点でのコマンドから、参照されているフィーチャー ID に飛び移ります。

後方にジャンプ (ショートカットキーのストローク: Alt-J)

このオプションを選択すると、[**ジャンプ先**]オプションを選択する前にいたコマンドまで戻ります。

パス | パスライン

このオプションは、選択した要素の範囲のみにパスラインを表示します。「CAD 表示の編集」の章の「パスラインの表示、アニメーション、および移動」を参照してください。

パス | 衝突の検出...

このオプションはパスラインを表示し、選択された様々な要素のために衝突検出を実行します。「CAD 表示の編集」の章の「衝突の検出」を参照して下さい。

パス | ClearanceCube | 開始面

ClearanceCube | 開始面 オプションで、要素の測定前に PC-DMIS が移動する ClearanceCube 面を決定します。利用可能な設定は -X、+X、-Y、+Y、-Z、+Z およびオフです。

パス | ClearanceCube | 終了面

ClearanceCube | 終了面 オプションで、要素の測定後に PC-DMIS が移動する ClearanceCube 面を決定します。利用可能な設定は -X、+X、-Y、+Y、-Z、+Z およびオフです。

パス | パスの最適化

このオプションは GROUP コマンドを右クリックした場合にのみ表示されます。これはグループの内部機能のパス最適化を実行します。詳しくは、付録「PC-DMIS で検査プランを使用」の「パスの最適化」を参照してください。

実行 | マーク (ショートカット キーのストローク: F3)

このオプションを選ぶと、そのオブジェクトを実行用にマークするか否か、マークの有無をトグル操作できます。マークに関する詳しい説明については、「測定ルーチンの編集」の章にある「マーク」を参照して下さい。

実行 | 開始点として設定

このオプションでは、[**ファイル | 一部実行 | 開始点からの実行**]メニュー オプションを選ぶと、測定プログラム実行が開始する開始位置を決定できます。「測定ルーチンの編集」章の「開始点の設定」を参照して下さい。

実行 | カーソルからの実行

このオプションを選択すると、編集ウィンドウの現在の位置の挿入点から実行を開始します。

実行 | ブロック実行

このオプションを選択すると、現在マークされたコマンドブロックが実行されます。

実行 | ブレークポイント

このオプションを選択すると、カーソルの位置にブレークポイントが挿入されます。ブレークポイントのより詳しい説明については、「測定ルーチンの編集」の章にある「ブレークポイントの使用」を参照して下さい。

編集 (ショートカット キーのストローク: F9)

これによってダイアログボックスが表示され、カーソルが位置するコマンドを編集することができます。

要素 | CAD からの理論値をアップデート

このオプションは測定プログラムの設計値をインポートされた CAD 設計値で更新します。

要素 | 公称値探索の上書き

このオプションを選択すると **[設計値検索を上書き]** ダイアログ ボックスにアクセスして、編集ウィンドウで右クリックした点に対するデフォルトの設計値探索の動作方法を上書きできます。詳しい情報については、「測定ルーチンの編集」の章にある、「検索された公称値を上書き」を参照して下さい。

要素 | 測定値を理論値にリセット

このオプションはすべての測定値を測定プログラムの設計上の値に設定します。

要素 | CAD で中心設定

このオプションはグラフィックの表示ウィンドウで、パートの CAD モデルを必要に応じて現在の要素の中心に移動、回転します。いったん中心に置かれると、要素は 2 、 3 回点滅します。この移動および回転操作は元に戻すことはできません。

要素 | CAD でハイライト

このオプションはグラフィックス表示のウインドウで選んだ要素を強調します。もしそれが隠されるなら、それは同じく要素ラベルを表示して強調します。第 2 の要素を強調することはハイライトから最初の要素を取り去ります。

要素 | CAD でハイライト解除

このオプションは上記の **CAD でハイライト** メニュー項目を使って作られたハイライトされた CAD 要素をクリアします。

要素 | 要素へプローブを移動

このオプションは選別された要素のためにグラフィックス表示ウインドウでアニメのプローブを CAD 要素に移動します。ユーザが最初要素コマンドを選択するなら、それは選択だけに利用可能になります。他のコマンドは支援されません。

要素 | <要素> をテスト

*このオプションは、自動要素を右クリックした場合のみに表示されます。*これは、選択された自動要素のテスト実行を行います。これは、**自動要素**ダイアログボックスにある**テスト**ボタンと同じように機能します。

警告: これを行うと機械が動きます。怪我を防止するために機械に近づかないでください。ハードウェアの損傷を防止するために機械を低速で動かしてください。

要素 | <要素> へ移動

*このオプションは、自動要素を右クリックした場合のみに表示されます。*選択した自動要素の中心へプローブを移動します。これは、**自要素の自動作成**ダイアログ ボックスにある**移動先**ボタンと同じように機能します。

警告: これを行うと機械が動きます。怪我を防止するために機械に近づかないでください。ハードウェアの損傷を防止するために機械を低速で動かしてください。

ブックマーク (ショートカットキーのストローク: Ctrl-F2)

このオプションを選択すると、カーソルの位置にブックマークが挿入されます。ブックマークの詳しい説明については、「測定ルーチンの編集」の章にある「ブックマークの使用」を参照して下さい。

切り取り (ショートカット キーのストローク: Ctrl-X)

このオプションを選ぶと、編集ウィンドウで選択したテキストが切り取られクリップボードにコピーされます。編集ウィンドウで切り取りを行う方法について詳しい説明は、「測定ルーチンの編集」章にある「切り取り」を参照して下さい。

切り取り (ショートカット キーのストローク: Ctrl-C)

このオプションを選ぶと、編集ウィンドウで選択したテキストがクリップボードにコピーされます。編集ウィンドウでコピーを行う方法について詳しい説明は、「測定ルーチンの編集」章にある「コピー」を参照して下さい。

貼り付け (ショートカット キーのストローク: Ctrl-V)

このオプションを選ぶと、クリップボードから編集ウィンドウのカーソル位置へテキストが貼り付けられます。編集ウィンドウで貼り付けを行う方法について詳しい説明は、「測定ルーチンの編集」章にある「貼り付け」を参照して下さい。

グループ化

このオプションを選ぶと、ユーザー定義のグループに、選択された一連のコマンドの一覧を挿入します。

グループを縮約

このオプションを選ぶと、拡大されたユーザー定義のグループすべてを縮約します。その他の拡大されたグループは、拡大されたまま留まります。

グループを展開

このオプションは、すべての折りたたまれたユーザ定義のグループを展開します。他の折りたたまれたアイテムが折りたたまれたままにしていください。

画像をドッキング

「要約モードのコマンドショートカットメニュー」にある説明を参照して下さい。

ポップアップ表示の変更 | 式の値

1. [**式の値**]を選択します。

2. カーソルを式の上に少しの間置きます。
3. 小さなポップアップウィンドウが現れ、式の現在の値が表示されます。

ポップアップ表示の変更| データタイプの情報

1. **[データ種類の情報]**を選択します。
2. カーソルをデータフィールドの上に少しの間置きます。
3. 小さなポップアップウィンドウが現れ、データ型の説明、データ型の番号、および型インデックスを含むデータフィールド情報を表示します。

このポップアップウィンドウに表示される情報は GETTEXT 式で使用されます。「入力式及び変数の使用」の章を参照して下さい。

ポップアップ表示の変更 | コマンド情報

1. **[コマンド情報]**を選択します。
2. カーソルを編集ウィンドウの任意のコマンドの上に少しの間置きます。

小さなポップアップウィンドウが現れ、コマンドの説明およびコマンドタイプの番号を表示します。このポップアップウィンドウに表示される情報は GETCOMMAND 式で使用されます。「入力式及び変数の使用」の章を参照して下さい。

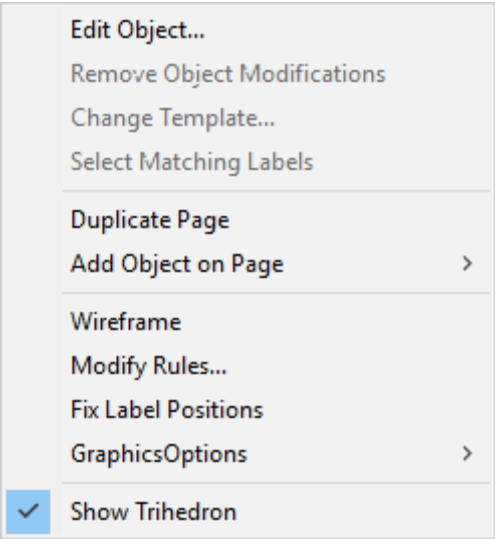
オブジェクト

このメニューオプションは編集ウィンドウに外部オブジェクトを挿入するまでは利用できません。これを行う方法について詳しくは、「外部要素の追加」章にある「外部オブジェクトの挿入」を参照して下さい。

編集ウィンドウに追加された外部オブジェクトを選択し、それを右クリックすると、このメニューがその特定のオブジェクトに固有のオプションを反映するよう変更されます。これらには、オブジェクトを開く、オブジェクトの編集、または単にオブジェクトのプロパティの変更などのオプションも含まれます。

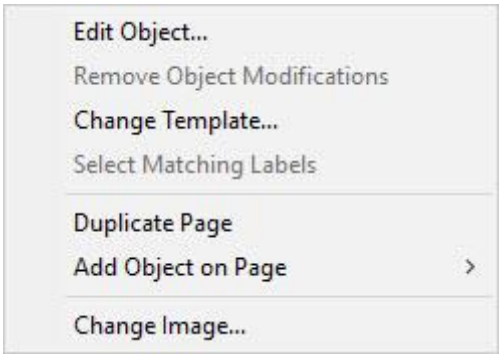
レポート ウィンドウでのショートカット メニュー

レポートウィンドウを右クリックすると、PC-DMIS はレポートウィンドウ内でのオブジェクトの表示方法を左右するメニュー項目のあるショートカットメニューを表示します。あるメニュー項目は、レポート ウィンドウ内で、特定のオブジェクトを右クリックした場合にのみ表示されます。レポート ウィンドウのショートカット メニューからアクセスできる、各種のメニュー項目が下記の表で記述されています:

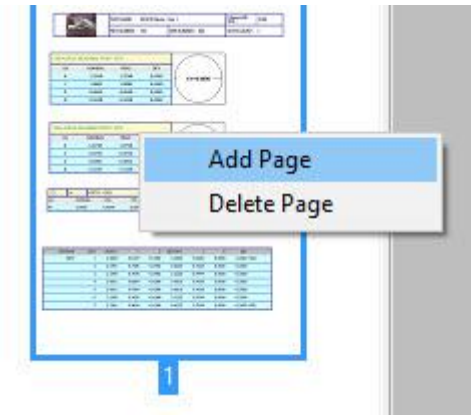


レポートのグラフィック表示におけるマウスポインタでのショートカットメニュー

ショートカット メニューについての参照



レポートのヘッダにおけるマウスポインタでのショートカットメニュー



プレビューペーンにおけるカスタムレポートのサムネイル画像上へのマウスポインタでのショートカットメニュー

オブジェクトの編集

このオプションを選ぶと、レポート ウィンドウ内のその時点でのオブジェクトを、デフォルトの状態から変更します。

- レポートウィンドウでラベルオブジェクトを右クリックすると、**ラベルプロパティ**ダイアログボックスが表示され、そのラベルを変更することができます。
- テキストレポートオブジェクト (基本的にレポートの末尾にある任意の白色空白テキストまたは非テーブル様レポートテキスト) を右クリックすると、**レポート**ダイアログボックスが表示され、レポートに含まれる内容を決定することができます。

Shift を押して任意のラベルオブジェクトを右クリックし、**レポート**ダイアログボックスを表示することができます。

詳しい情報については、「測定結果のレポート」の章にある「レポート ウィンドウの内容変更」を参照して下さい。

選択されたらべるを隠す

このオプションを選ぶと、CadReportObject と共に使用されて、選択されたラベルすべてを隠します。隠す予定のラベルを選択し、その後、このメニュー項目を表示するために、選択されたラベルのひとつを右クリックして下さい。一度に複数のラベルを選択するには、希望のラベルの周りのボックスをマウスでドラッグするか、または Ctrl キーを押しながら希望のラベルをクリックします。

隠されたラベルを表示

このオプションを選ぶと、隠されたラベルがすべて表示されます。このメニュー項目を表示するには、CAD レポート オブジェクトを右クリックして下さい。

オブジェクトを削除する

このオプションは、選択されたラベルオブジェクトまたは**ページにオブジェクトを追加**サブメニューを使用してユーザーが追加した断面切断プロファイルオブジェクトを削除します。

選択したオブジェクトを削除しようとするときに **Delete キー**を使用しないでください。それを行うと代りに、編集ウィンドウで選択したコマンドが削除されます。

オブジェクトの変更を削除

このオプションを選択すると、右クリックしたオブジェクトが元の状態に戻り、[**オブジェクトの編集**]メニュー項目を使用して行った変更、またはサポートされ

ているオブジェクトのサイズ変更または位置変更をして行なった変更が削除されます。

テンプレートの変更

このオプションを選ぶと、**開く** ダイアログ ボックスが表示され、表示用のテンプレートを変更し、元となるコマンドからのデータの書式整形を行うことができます。そのコマンドと共に機能するよう指定されたテンプレートのみがダイアログ ボックスに表示されます。

このオプションを使用する場合(**適合ラベルの選択**メニュー項目の使用後など)、複数のラベルが選択されている場合、PC-DMIS はラベルの変更をすべての選択されたラベルに適用します。

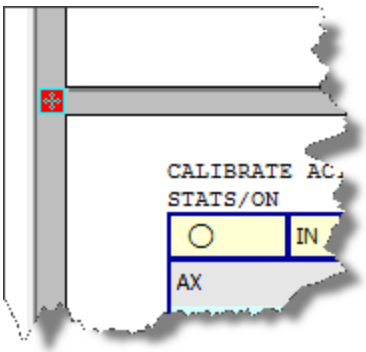
一致ラベルを選択

このオプションは、ラベルを右クリックした時に現れます。このオプションはユーザがクリックしたラベルと同じラベルテンプレートを使用する現在のページにあるすべてのラベルを選択します。

ページの複製

このオプションを選ぶと、右クリックされたページと同じページが即座に、その時点でのページに続いて作成されます。これは、複数ページにまたがる 1 ページに収まらないラベルを整理するのに役立つ場合があります。

複製されたページの左上部分に赤い十字のアイコンが表示されます。



複製されたページであることを示す、十字アイコンの例

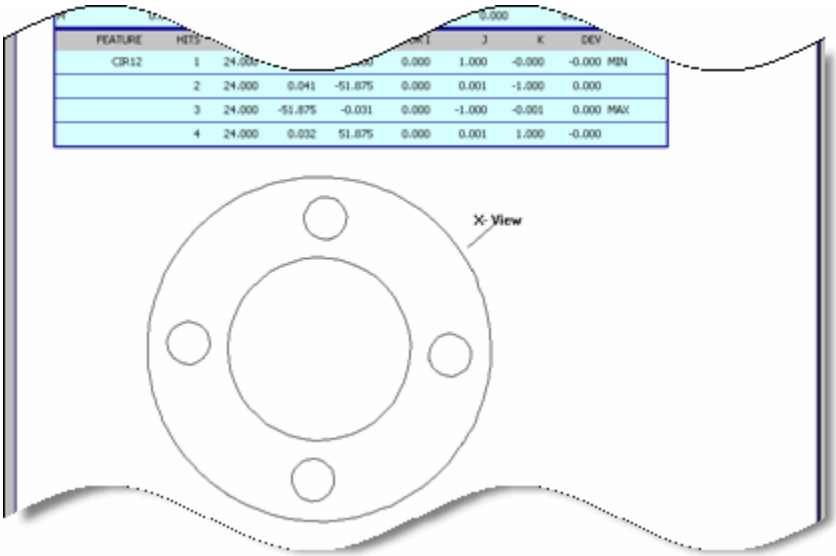
複製されたページを削除するには、そのページを右クリックし、**複製ページの削除**を選択します。

複製されたページを取り除く

このオプションは、以前に複製されたページを右クリックした場合にのみ、メニュー内に表示されます。それを選択して複製されたページをレポートから削除します。

ページのオブジェクトを加える| 切断面輪郭図

このオプションはパーツモデルの切断面輪郭図をレポートに挿入します。



切断面の輪郭例

このオプションを選んだ後、マウスを使用してレポートウィンドウ内にボックスをドラッグして断面切断プロファイルを挿入します。詳しくは、「測定結果のレポート」章にある「断面オブジェクト」を参照して下さい。

この方法を使用して、複数の断面ビューをレポートに挿入できます。

画像の変更

このオプションはヘッダのラベルテンプレート (FILE_HEADER.LBL など) を右クリックするとメニューに表示されます。このオプションを選択すると、**開く**ダイアログボックスを使用してレポートのヘッダ用に新しい画像を選択できます。新

しい画像を特定して**開く**をクリックすると、レポートはその画像を使用します。また、この操作によって基本的なラベルテンプレート (.lbl) が新しい画像で更新されます。

ページのオブジェクトを追加 | カスタム ラベル

このメニュー項目を用いて、アクティブ レポート内に、カスタム ラベル オブジェクトをすばやく挿入できます。この形式のラベル挿入プロセスは、規則系統図エディタとは全く連結していません。

このメニュー項目を選び、それから、レポート ウィンドウ内でボックスをドラッグして描いて下さい。**開く**ダイアログボックスが表示され、選択されたラベルテンプレートをレポートのその時点のページ内にすばやく挿入することができます。

CAD レポートオブジェクトの移動/ズーム/回転 MOD を取り除く

このメニュー項目では、CADReportObject に加えたパン、ズーム、および回転の変更のみを削除できます。その他の変更(切断面、様々なラベル定義、立体またはワイヤ表示など)は影響を受けませ t ん。

らベルの選択

このメニュー項目はユーザの報告で異なったセクション間に容易に複数のラベルを選択することを許します。

この項目を選択すると、PC-DMIS は[**ラベルの選択**]ダイアログ ボックスを表示します。このダイアログ ボックスには CADReportObject と結び付けられているレポートのラベルが表示されます。このダイアログボックスから任意のラベルを選択し、ダイアログボックスの[**OK**]をクリックすると、PC-DMIS はレポート内で対応するラベルを選択します。

ダイアログボックスに表示されるラベルは要素タイプ、寸法タイプまたはすべてのコマンドによって制限できます。

詳しい情報については、「測定結果のレポート」の章にある「レポート ウィンドウの内容変更」を参照して下さい。

ワイヤーフレーム

このメニュー項目はモデルをワイヤーフレームまたは立体として表示することによって、選択された CADReportObject の表示を切り替えします。このメニュー項目は、レポート内の CAD レポート オブジェクトを右クリックした場合にのみ、表示されます。

ルールを修正

このメニュー項目は**ルール ツリー エディタ**ダイアログボックスの簡易型のバージョンを表示します。ユーザーはこのダイアログボックスの**無効**または**有効**オプションを使用して、規則をオンまたはオフにすることができます。

以前使用されていないラベルを表示

このメニュー項目は重複したページにある CADReportObject のラベルで機能します。

ユーザが 1 ページの CadReportObject の上の 1 セットのラベルをオフにして、次に、そのページをコピーする場合には、ユーザはオリジナルのページで使用されないラベルを見せさせるのに、コピーされたページでこのメニュー項目を使用できます。

ラベル位置を固定

このメニュー項目は各ラベルの位置変更を作成し、ユーザーがレポートを次に開くときに、PC-DMIS がラベル位置を再計算しないようにします。

グラフィックスオプション | なし

このメニュー項目は、CADReportObject (CAD レポートオブジェクト) でのすべてのラベルを非表示にします。

グラフィックスオプション | ラベル

このメニュー項目は CADReportObject (CAD レポートオブジェクト) でのすべてのラベルを表示します。

ページの追加 (カスタムレポートにのみ適用されます)
このメニュー項目は新しいページをカスタムレポートの最後に追加します。

ページの削除 (カスタムレポートにのみ適用されます)
このメニュー項目はカスタムレポートからそのページを削除します。レポートには常に 1 ページ以上がなくてはいけません。